５月避難訓練　実施案

堀船小学校　生活指導部

１　**ねらい**
・地震避難（校庭に避難する状況）の基本的行動を身に付けさせる。
・校庭への避難の仕方を身に付けさせる。

２　**日時**
令和６年５月１０日(金)　9:５５～１０：２５(２校時授業中)

３　**準備物（担当）**
放送（副校長）　児童数確認表（副校長）　出席簿（担任）

４　**避難経路の制限**
制限なし。一番近い階段を使用する。

５　**校内巡視の担当**
１階…事務　　２階…主事　　３階…主事　　４階…主事

６　**訓練の実際**
①　２校時授業中に放送が入る。
②　職員、児童は私語をやめ、指示命令を聞き、おかしもの約束を守り、速やかに避難行動をとる。
③　校庭に避難し、人員確認を行う。
④　学校長の話

【想定】
・２校時授業中の地震発生
【避難場所】校庭（校章旗前）
【雨天時】教室で待機

	時間の推移	・児童の動き	○教職員の動き
事前指導		・地震の対応について確認する。	○今回の避難訓練は予告あり。安全な避難行動を指導する。
避難訓練	【事案発生】 「避難訓練。避難訓練。 地震です。揺れが収まるまで物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を寄せて、手で頭をおおって座ります。物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を寄せて、手で頭をおおって座ります。」	・教室等で指導を受けている。 ・伝達内容を聞き、状況を把握するとともに、これからどのように、避難するかを知る。 ・物が落ちてこない、倒れてこない場所に身を寄せて、手を頭でおおって座る。(机等の下、校庭中央、ダンゴムシのポーズ)	○窓を開ける。カーテンを閉める。 校舎内：教室→机等の下に隠れる。 校庭：校庭中央に集合し、しゃがむ。 玄関：校庭と同様 階段：手すりにつかまる 体育館：体育館中央 **自分で安全を確保できる場所を見つけ出し、避難できるようにすることが望ましい。**
	（少しの時間のあと） **＜晴天時＞** 「揺れが収まりました。校舎の安全が確認できるまでの間、校庭に避難します。防災頭巾が近くにあれば、防災頭巾をかぶります。近くにいる先生の指示に従い、避難します。先生方は、避難経路の安全を確認しながら、児童を誘導してください。避難開始。」 【校庭に避難→人員確認】	・教職員の指示に従い、校庭に避難する。 ・担任の前に、避難訓練並び整列する。	○児童を引率し校庭に避難する。 ○異状の有無に関係なく、校舎内の巡視をする。→本部に報告する。 ○担任は人員を確認し、本部に報告する。 「○年○組　在籍○名、欠席○、異状なし。」
	＜雨天時＞教室で待機 「揺れが収まりました。教室で安全確認を行います。防災頭巾を被り、椅子に座って待ちましょう。」 **【担任が人員確認をし、学年主任に報告→同じフロアの学年主任同士で人員確認→各フロアにいる上学年の学年主任が本部に報告】** **「全員の安否を確認できました。」**	・教職員の指示に従い、安全確認が終わるまで、教室で待機する。 ○職員室にいる教員は、体育館で授業をしている学級の人員確認に行く。 ○本部に報告に行く際、廊下等の安全確認を行う。	○担任は人員を確認し、学年主任に報告し、教室で待機する。 ○学年主任は、各担任から報告を受け、各フロアの上学年学年主任に報告をする。 ○上学年の学年主任が不在の場合、下学年の学年主任が本部に報告する。 ○雨天時は**放送**で講話を聞く。

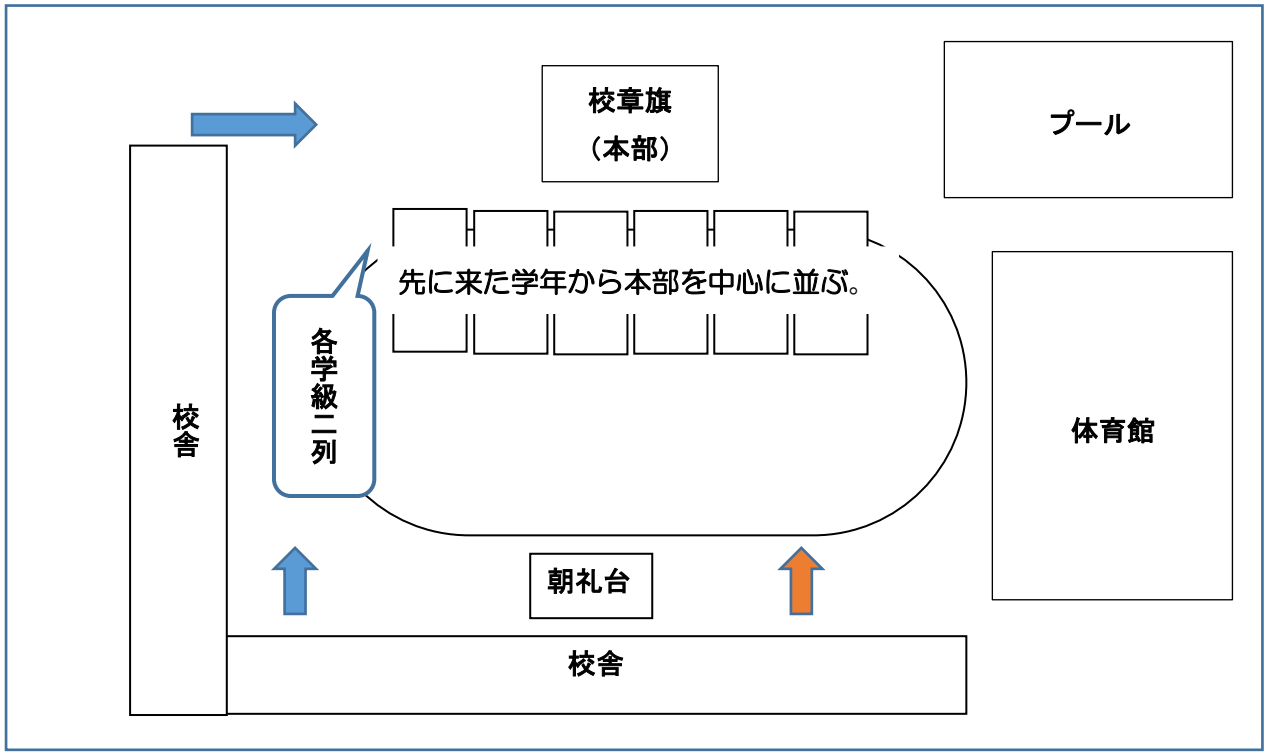
	【学校長の話（地震避難の基本行動）】	・講話を聞く。	
事 後 指導		・振り返りカードを使いながら今日の訓練を振り返る。	○自助の大切さを伝える。

留意事項　・身近にある場合、防災頭巾、ヘルメットを着用する。
・児童不在があった場合、担任または学年の先生が校内を点検する。
（担任が校内の点検をするために、教室から離れる場合は、学年の先生に伝える）
※図工・音楽の授業中は、避難場所で担任に引き継ぐ。
※少人数算数は各担当が誘導し、本部でクラス毎に並び直す。

避難・集合の原則

●校庭 校章旗前に整列

【晴天時：校庭】



※今回の地震の避難訓練では、雨天の場合は**教室で待機**する。